

独立行政法人国立病院機構
福山医療センター

特定行為研修

2027年度

募集要項

〈領域別パッケージ〉

周術期麻酔管理領域

〈区分別科目〉

動脈血液ガス分析関連

栄養に係るカテーテル管理

(中心静脈カテーテル管理) 関連

栄養に係るカテーテル管理

(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連

術後疼痛管理関連

血糖コントロールに係る薬剤投与関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連



独立行政法人 国立病院機構

福山医療センター

National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

I. 看護師特定行為研修の概要

1. 国立病院機構病院における看護師特定行為研修の研修理念

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

国立病院機構病院 看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探究する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

2. 福山医療センターにおける看護師特定行為研修の特色

当院の理念である「私たちは国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さんの権利と意思を尊重し、安全でしかも満足の得られる、質の高い医療の提供を目指します。」をもとに、地域の中核的医療機関として、政策医療（がん、成育、骨・運動器）を推進しています。また、地域の医療機関と連携を深めながら、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、救急告示病院・病院群輪番制病院（二次救急）として地域医療を担っています。当院はICU・NICU・GCU・HCUを有し、高度急性期患者の治療・看護を行っています。また年間の手術件数は約3500件あり、患者の状況に合わせて高度急性期病棟や一般病棟においても術後管理を行っております。このような状況の中で当院の理念を踏まえ、看護師特定行為研修の領域別パッケージである「周術期麻酔管理領域」の特定行為6区分「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」「動脈血液ガス分析関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「術後疼痛管理関連」「循環動態に係る薬剤投与関連」を実施します。さらにパッケージ以外に「動脈血液ガス分析関連」と「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」、そして「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」「術後疼痛管理関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」については区分別研修として実施します。

3. 研修理念と目的および目標

<研修理念>

福山医療センター看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、国立病院機構の理念を踏まえ、チーム医療のキーパーソンと言われている看護師が、手順書により特定行為を倫理的かつ安全に実施できるように育成します。そのために必要な専門知識や技術、思考力や判断力、高い倫理観をもち役割と責任を意識した行動がとれる看護師を育成し、地域医療に貢献します。特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探究する姿勢を養うことを重視します。

<研修目的>

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

<研修目的>

- 1) 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
- 2) 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

- 3) 多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施する能力を身につける。
- 4) 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- 5) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける。
- 6) 医師の指示のもと、手順書により身体所見、検査所見、画像所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、安全に特定行為を行えるようになる。
- 7) 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。
- 8) 医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を学ぶ。
- 9) 実施、報告の一連の流れが適切に行える。

4. 特定行為区分と定員

当院の特定行為研修は、④領域別パッケージの「周術期麻酔管理領域」と⑤「動脈血液ガス分析関連」、⑥「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」、⑦「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」、⑧「術後疼痛管理関連」、⑨「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」です。

「共通科目」は必須ですが、他の研修指定教育機関において「共通科目」の各科目を履修し、修了している場合は規定に基づき免除されます。

- ④ 領域別パッケージ「周術期麻酔管理領域」 定員3名
- ⑤「動脈血液ガス分析関連」 定員2名
- ⑥「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」 定員2名
- ⑦「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」 定員3名
- ⑧「術後疼痛管理関連」 定員2名
- ⑨「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」 定員2名

5. 科目名と研修時間

研修は共通して学ぶ「共通科目」と特定行為ごとに学ぶ「特定行為区分別科目」があります。

「共通科目」は必修科目であり、決められた期間に修了していなければ、「特定行為区分別科目」は受けられません。「共通科目」の講義はe-ラーニングによる受講であるため、勤務先や自宅のインターネット環境のある、パソコンやタブレット、スマートフォン等が必要になります。またそのような環境下であれば、勤務先や自宅で受講できます。ただし、演習や実習は福山医療センターで実施することになります。

1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につける科目

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	31 時間
2	臨床推論	45 時間
3	フィジカルアセスメント	45 時間
4	臨床薬理学	45 時間
5	疾病・臨床病態概論	41 時間
6	医療安全学	45 時間
7	特定行為実践	
小 計		252 時間

*共通科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

- 2) 区分別科目(必修科目)：各特定行為に必要とされる能力を身につける科目で④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨コースの6種類があります。

	特定行為区分別科目	特定行為	時間数
④ 周術期麻酔管理領域パッケージ	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間 5 症例
	呼吸器(人工呼吸器療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定変更	17 時間 各 5 症例
		人工呼吸器からの離脱	
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間 各 5 症例
		橈骨動脈ラインの確保	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	11 時間 5 症例
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間 5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	12 時間 5 症例
小 計			70 時間 8 × 5 症例

⑤	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13 時間 各 5 症例
		橈骨動脈ラインの確保	

⑥	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間 5 症例
---	------------------------------	--------------	--------------

⑦	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8 時間 5 症例
---	--------------------------------------	----------------------	--------------

⑧	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間 5 症例
---	----------	---------------------------	--------------

⑨	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16 時間 5 症例
		持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	16 時間 各 5 症例

*区分別科目は、講義・演習(e-ラーニング)、実習で構成されます。時間数には筆記試験時間を含みません。

区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目に合格していることが必要です。

6. 研修修了要件

- 1) 研修科目における出席時間が当該科目時間数を満たしていること。
- 2) 共通科目をすべて履修し、筆記試験および観察評価等に合格すること。

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

- 3) 上記1)、2) 修了後、④周術期麻酔管理領域パッケージ、⑤動脈血液ガス分析関連、⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、⑦栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連、⑧術後疼痛管理関連、⑨血糖コントロールに係る薬剤投与関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の各区分別科目を履修し、筆記試験および観察評価等に合格すること。

また、一部の科目では実技試験にも合格すること。

- *特定行為研修修了後、④周術期麻酔管理領域パッケージ、⑤動脈血液ガス分析関連、⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、⑦栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連、⑧術後疼痛管理関連、⑨血糖コントロールに係る薬剤投与関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

7. 研修期間及び研修日程

<研修期間>

2027年4月12日～2028年3月下旬 1年間

<研修期間>

2027年4月12日 2027年4月12日 2027年7月～ 2027年8月下旬 2027年9月上旬	開講式・ガイダンス 共通科目受講開始 集合研修(共通科目の演習・実習) 共通科目修了 区分別科目受講開始			
	④コース	⑤コース	⑥⑦コース	⑧⑨コース
2027年10月上旬頃～ 2027年12月上旬 2027年12月中旬 2028年2月下旬 2028年3月下旬	集合研修(区分別科目の演習・実技試験) 臨地実習開始 臨地実習修了 区分別科目修了 修了式	集合研修・ 臨地実習開始 区分別科目修了 ※修了式の日程は調整します	集合研修・ 臨地実習開始 区分別科目修了 ※修了式の日程は調整します	集合研修・ 臨地実習開始 区分別科目修了 ※修了式の日程は調整します

8. 研修場所・実習施設

集合研修：独立行政法人国立病院機構福山医療センター 特定行為研修室・スキルアップ研修室・図書室

e-ラーニング・実習期間：特定行為研修室または所属施設

9. 研修経費

1) 受講料（税込み）

費目	所属	
	独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者
共通科目受講料	230,000 円	300,000 円
区分別科目受講料		
④ 周術期麻酔管理領域パッケージ	270,000 円	350,000 円
⑤ 動脈血液ガス分析関連	35,000 円	50,000 円
⑥ 栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	20,000 円	30,000 円

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

④ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	50,000 円	70,000 円
⑤ 術後疼痛管理関連	20,000 円	30,000 円
⑥ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	45,000 円	60,000 円
⑦ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	45,000 円	60,000 円

* 共通科目と区分別科目を合わせた費用が受講料（税込み）です。

また、共通科目免除の場合は、区分別科目受講料のみとなります。

2) その他

学習に必要なテキスト等の書籍費

10. その他

1) 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関及び「看護師の特定行為研修」e-ラーニングでの学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。出願時に書類の提出が必要となりますので、出願前に問い合わせ先までご連絡ください。

2) 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

3) 集合研修中の宿泊先は研修生で手配してください。

応募要領

1. 研修受講資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、通算して5年以上の看護実務経験を有し、国立病院機構ラダーレベルⅢ以上または、日本看護協会におけるラダーⅢ相当の者であること
- 3) 所属施設長の推薦を有すること
- 4) 研修終了に必要な出席日数および学習時間が確保できる者であること

2. 募集人員

- ① 周術期麻酔管理領域パッケージ 3名
- ② 動脈血液ガス分析関連 2名
- ③ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 2名
- ④ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 3名
- ⑤ 術後疼痛管理関連 2名
- ⑥ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与 関連 2名

3. 試験日 2027年2月5日（金）

4. 試験科目 小論文（800字程度）、面接試験

5. 出願手続

- 1) 出願期間 2026年12月7日（月）～2027年1月15日（金）消印有効

2) 出願書類

- ① 受講申請書（指定用紙）
- ② 履歴書（指定用紙）
- ③ 志願理由書（指定用紙）
- ④ 所属施設長の推薦書（指定用紙）
- ⑤ 看護師免許の写し（A4サイズ）
- ⑥ 受験票
- ⑦ 写真票
- ⑧ 実習施設情報
- ⑨ 返信用封筒

3) 審査料 20,000円

- (1) 納入は、銀行振り込みとします。本研修指定の「振込依頼書」を使用し、振り込んでください。
- (2) 「ご依頼人」は、必ず申請者本人の氏名を記入し、銀行窓口に提出してください。
尚、お名前の頭に「特定行為」を印字しているので、その続きに記入してください。
- (3) 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- (4) 「振込金受取書」をもって領収書に代えますので、保管してください。
- (5) 振込後は「振込通知書（センター提出用）」を出願書類とともに郵送してください。

4) 出願書類の書き方

- (1) 受講申請書：指定用紙（様式1）
 - ① 「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が署名し押印してください。
 - ② 希望コースに○をつけて下さい。
- (2) 履歴書：指定用紙（様式2）
 - ① 年齢は、2027年4月1日現在で記入してください。

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。

③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。

④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。

⑤写真は 6 か月以内に撮影したもの（縦 40mm×横 30mm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3) 志願理由書：指定用紙（様式3）

①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4) 推薦書：指定用紙（様式4）

①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。

②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。

③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5) 看護師免許証の写し

①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(6) 受験票：指定用紙

①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(7) 写真票：指定用紙

①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。

②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8) 実習施設情報：指定用紙（様式5）

①実習を行う予定の施設リスト

実習を行う場所（自施設または実習協力が可能な他施設）を記載する。

②受講を希望する特定行為に関する施設情報

・受講するすべての科目について施設情報を記載する。

・実習を行う施設の番号を記載する。実習する施設がない区分別科目は、④と記載する。

・各特定行為について、直近 2 箇月間で特定行為の対象となる患者が 5 例以上いる場合は○をつける。

・本研修の臨地実習と修了後の指導体制を確認するため、受講申請時点での指導者確保の可能性について、指導者がいる場合に○をつける。

*指導者とは：臨床経験が 7 年以上で、「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師。

(9) 返信用封筒：指定封筒

①受験票送付封筒に受験者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、速達郵便額相当分の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。

封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6) 注意事項

(1) 試験日の 4 日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構福山医療センター 特定行為研修担当者（庶務班長・教育担当副看護部長）

電話（代表）084-922-0001

(2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

募集要項

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構福山医療センター 管理棟 3 階 会議室

2) 時間割

試験科目	試験時間
受 付 (30 分)	10:00 ~ 10:30
オリエンテーション (15 分)	10:30 ~ 10:45
小 論 文 (60 分)	10:45 ~ 11:45
面接オリエンテーション (15 分)	11:45 ~ 12:00
昼 食 (60 分)	12:00 ~ 13:00
面接 (原則、受験番号の早い順で計画)	13:00 ~ 終了まで

3) 試験に持参するもの

- ①受験票
- ②筆記用具 (鉛筆・シャープペンシル・消しゴムを準備してください)
- ③昼食

4) 試験時の注意点

- (1) 試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。
- (2) 試験中は、係員の指示に従ってください。
- (3) 病院駐車場は、原則使用できません。公的交通機関で来院ください。

8. 合格発表・受講手続

1) 合格発表日: 2027 年 2 月 24 日 (水)

- (1) 病院ホームページに午前 10 時に合格者受験番号を掲示します。
- (2) 同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。
- (3) 電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 受講手続

- (1) 手続期間 2027 年 3 月 1 日 (月) ~ 2027 年 3 月 10 日 (水)
- (2) 受講に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

- 1) 提出された書類により得られた個人情報、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。
- 2) 福山医療センターのホームページから、募集要項、出願書類がダウンロードできます。
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒720-8520
広島県福山市沖野上町4丁目14-17
独立行政法人国立病院機構福山医療センター
特定行為研修 受講審査係

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構福山医療センター
特定行為研修担当者 教育担当副看護部長・庶務班長
電話 (代表): 084-922-0001

*祝祭日を除く月～金曜日の8:30～17:15までにご連絡ください。

お問い合わせ先

独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター

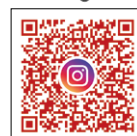
特定行為研修担当者 電話(代表)084-922-0001

* 祝祭日を除く月～金曜日の8:30～17:00までにご連絡ください。

<https://www.fukuyama.hosp.go.jp/>

E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp

Instagram



nho_fukuyama

福山医療センターにお越しになるには、

タクシー・自家用車

福山東インターから……約25分

福山駅から……約5分

福山スマートインターから 約15分

中国バス

福山駅前バス停から……約10分

◎4番のりばよりご乗車ください。



独立行政法人 国立病院機構

福山医療センター

National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17

Tel(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969

<https://www.fukuyama.hosp.go.jp/>

